

都市再生整備計画(第4回変更)

かみね公園観光拠点地区

茨城県 日立市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	日立市	地区名	かみね公園観光拠点地区	面積	57 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標 大目標: 多くの人が集う「安らぎ」と「活気」にあふれた観光交流拠点に再生する。 目標1: 動物園等のリニューアルにより魅力を向上させる。 目標2: 便利施設等の整備により利便性、快適性を向上させる。 目標3: 公園内外の交通アクセスの充実を図り回遊性を向上させる。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> かみね公園は昭和23年に造成に着手した総合公園で、昭和28年には地元「神峰公園整備促進会」が結成され物心両面からの支援を受けて整備が進み、昭和32年に動物園が開園した。 その後も郷土博物館など施設整備が進み、隣接するレジャーランドや市民プールなどと併わせて日立市を代表する観光拠点として多くの人でにぎわってきた。 昭和32年: 動物園開園(遊戯施設も併設) 昭和50年: 郷土博物館開館 平成16年: 田正音楽記念館開館 公園内の桜は平和通りの桜並木とあわせて日本さくらの名所100選に選ばれており、また園内のかみね動物園は県内では唯一の動物園である。 最盛期の平成元年には年間約92万人が訪れていたが、レジャーの多様化、施設リニューアルの遅れによる老朽化、少子化等により徐々ににぎわいが薄れ、平成15年度の来訪者は約55万人である。 平成16年度は新たに田正音楽記念館が開館し全体の来訪者は増加したが、既存施設における減少傾向は変わっていない。 住民アンケートでも総合レジャー施設としての施設整備を望む声が多く寄せられている。 平成16・17年度にかみね公園活性化推進計画が策定され活性化の目標及び各種事業が位置づけられている

課題 日立市を代表する観光拠点であるかみね公園を再生するには、高齢者や障害者、子供など様々な人々のニーズに対応し、豊かさやゆとりを実感できる施設にしていくことが課題である。 <ul style="list-style-type: none"> かみね動物園は獣舎リニューアルの遅れ等により魅力が減少し、来園者も最盛期(昭和63年)の約43万人に対して平成16年は約26万人と落ち込んでいる。 かみね公園内には平坦地が少なく、来園者の休憩等における快適性の向上が課題となっている。 かみね公園内の園路は舗装の傷みや段差の解消等が課題となっている 授乳室やオムツ替え施設等家族向けのサービス施設が整備されていない。 高低差のある公園内に点在する施設を快適に回遊してもらうための交通手段がなく、誘導案内サインの設置も十分でない。

将来ビジョン(中長期) 地域に愛され、幼児から高齢者にいたるまで多くの人々が安心して様々な体験ができる活気に満ちた交流拠点 <ul style="list-style-type: none"> かみね動物園はボランティアやNPO等と連携、協働をすすめることにより、より利用者ニーズに沿ったサービスを提供する。 日立市基本計画において、かみね公園は既存施設の充実を図るとともに、新たな魅力づくりのための整備を推進することとされている。 日立市都市計画マスタープランにおいて、かみね公園は総合レジャー施設としての機能を高めることとされている。

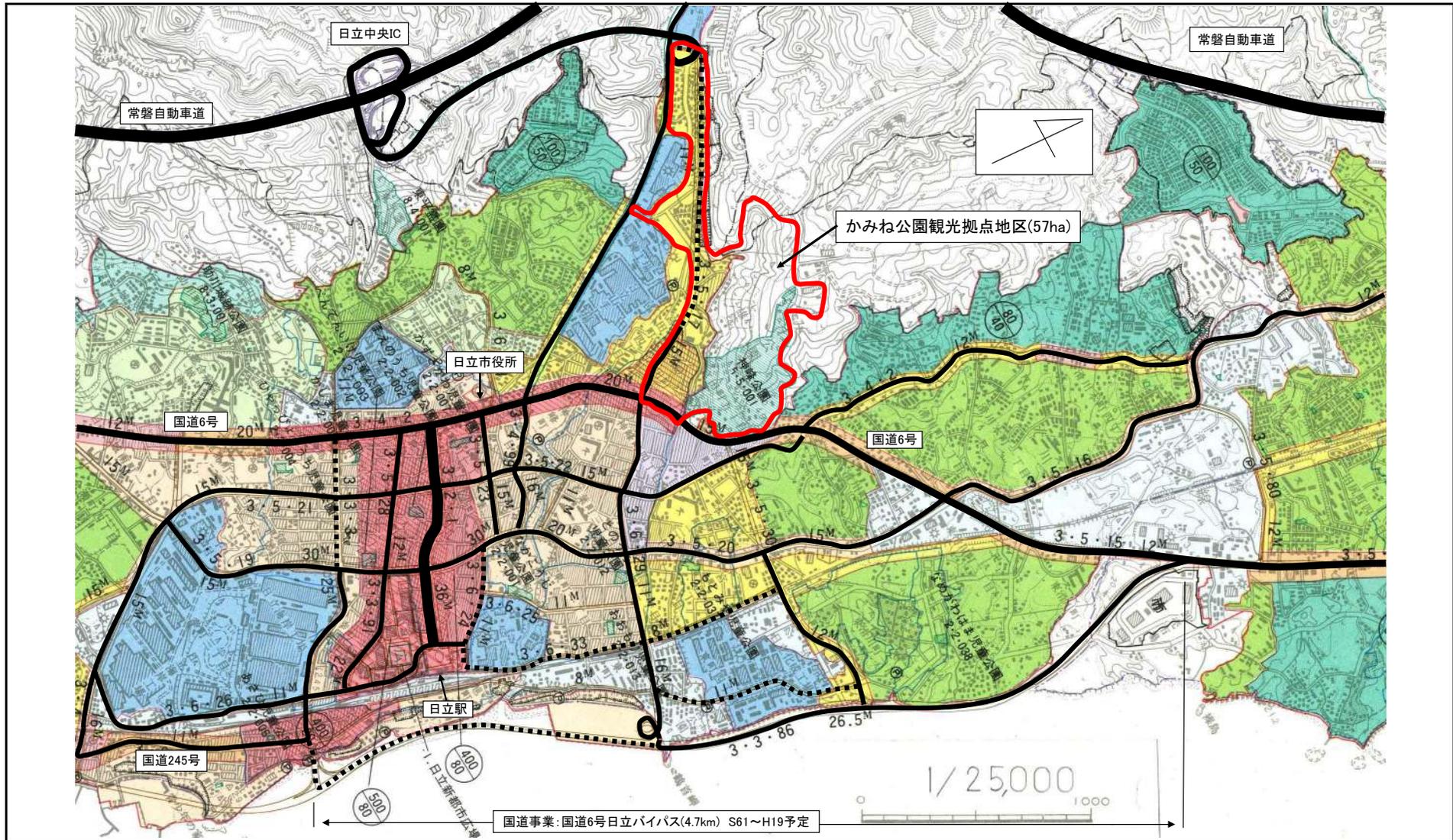
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
かみね公園来訪者数	人/年	かみね公園を訪れる人数	かみね公園エントランスや、獣舎のリニューアル等によりかみね公園来訪者数減少率の低減を図る	550,000	平成17年度	515,000	平成22年度
便利施設整備による満足度	%	オムツ替え施設や授乳室の整備による来場者の満足度	来場者から整備要望のある便利施設を整備することにより来場者の満足度を向上させる(アンケートを実施)	0	平成17年度	70	平成22年度
園内移動時間	分	かみね公園入口から頂上までの移動所要時間	交通システムの導入や周回バスの拡大運行により園内の移動時間を短縮し、園内施設相互の回遊性を向上させる	20	平成17年度	6	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(動物園等のリニューアル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かみね公園の表玄関にふさわしいエントランスを整備する ・老朽化した獣舎を動物にもやさしい獣舎として整備する ・利用者拡大のための広告宣伝活動のほか、記念誌の作成等を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・かみね公園エントランス整備事業 ・獣舎等再整備事業 ・広報・宣伝活動事業
<p>整備方針2(利便性、快適性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園事務所を資料室や授乳室、トイレ等を備えたものにリニューアルする ・園路について拡幅、段差の解消等の改修を行う ・樹木の伐採により良好な眺望を確保し、芝生広場の高低差を解消して良好な滞留空間とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・かみね公園事務所等(ウェルカムプラザ)整備事業 ・かみね公園内園路改修事業 ・かみね公園公園灯整備事業 ・かみね公園頂上芝生広場整備事業
<p>整備方針3(回遊性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周回バスにより高低差がある園内の各施設を結び回遊性を向上させる ・来訪者に適切な情報を提供する案内誘導サイン類を整備する ・周辺道路を改修しアクセス性を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・かみね公園内交通システム整備推進事業 ・誘導案内板・サイン整備事業 ・市道2083号線改修事業 ・かみね公園周回バス利用促進事業
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民・企業・団体等の参画と共同による公園づくり <ul style="list-style-type: none"> ・かみね動物園では市民ボランティアによるオリジナルグッズの開発、かみね公園では市民団体によるさくらの維持管理への協力などが行われているが、将来的には動物園のツアーガイドや飼育・清掃ボランティア、公園内の花壇整備などへの協力も視野に入れている。 ・かみね公園が本市のシンボル公園として市民に末永く愛されるため、適切な役割分担をし市民・企業・団体などによる様々な協働と参画による公園づくりを行い、市民が支える公園を目指す。 ・記念事業を通じたかみね公園のイメージアップと市民等との公園づくりの過程において、アンケート調査等により公園の満足度向上を確認する。 	

都市再生整備計画の区域

かみね公園観光拠点地区(茨城県日立市)	面積	57 ha	区域	白銀町1・2・3丁目、宮田町3・4・5丁目・旧番地、滑川町3丁目の各一部
---------------------	----	-------	----	--------------------------------------



かみね公園観光拠点地区(茨城県日立市) 整備方針概要図

目標	大目標: 多くの人が集う「J」にあふれた観光交流拠点に再生する。 目標1: 動物園等のリニューアルにより魅力を向上させる。 目標2: 利便施設等の整備により利便性・快適性を向上させる。 目標3: 公園内外のアクセスの充実に回遊性を向上させる。	代表的な指標	かみね公園来訪者数 (人/年)	550,000 (17年度) → 515,000 (22年度)
			利便施設整備による満足度 (%)	0 (17年度) → 70 (22年度)
			園内移動時間 (分)	20 (17年度) → 6 (22年度)

